



TOGAKU PRESS

TOGAKU生の活躍を
応援するマガジン

変わりゆくTOGAKUを 学生目線で調査!

100周年に向けて進化する
TOGAKUのあれこれを
ワースタがレポートします!

辻中学長ってどんな人?
新学長の人柄に迫る!

愛知理事長に聞く
100周年に向けての展望

新 English Lounge の情報も!
進化の現場に潜入取材

自彊不息でいこう

“国際支援の夢に向けて奮闘中!”

後藤瑠花さん(グローバル・コミュニケーション学科4年)
詳しくはP.12へ

ワースタがゆく!

変わりゆく大学を 学生目線でレポート!

TOGAKUの魅力を発信する学生集団「ワースタ (ワーク・スタディ・スタッフ)」が
今、気になる学内のヒト・モノ・コトを徹底調査。
これを読めば、100周年に向けて進化するTOGAKUの姿が見えてくる!

新学長ってどんな人?

この春から新学長に就任した辻中豊先生とワースタの対談が実現。
新学長がどんな人なのか探るべく、学生代表として話を聞きました!

先生のこと
いろいろ教えてください!

新学長の辻中です

よろしくお願いします!

飯村莉子さん(グローバル・コミュニケーション学科3年)

古崎菜名加さん(グローバル・コミュニケーション学科2年)

鈴木愛羅さん(グローバル・コミュニケーション学科3年)

石田和馬さん(現代経営学科2年)



今年4月から新学長に就任した 辻中豊先生のメッセージ

私はこれまで41年間にわたって、4つの大学で教育と研究に励んできました。しかし、東洋学園大学では新入生。皆さんと一緒にこれから学んでいきたいと思っています。

東洋学園大学の建学の精神である自強不息の「彊」には、「田んぼを区切り、弓で守る」という意味があります。つまり、自強不息は「たゆまず自ら努めて励み、自分の愛するフィールドを強化し続ける」ということだと思います。

自分の好きなフィールドを見つけるためには、「自分を知る」ことが重要です。そこでおすすめしたいのが、「自分ノート」をつけること。自分が

生き生きする、おもしろい、楽しい、不思議だ、と感じたことを手帳やノート、スマホのメモ機能などに書きとめる習慣をつけてみましょう。私自身も大学時代に「自分ノート」を作り、書きとめた内容を時々読み返すことで、自分を知ることができました。

自分の好きなフィールドを見つけることは、実は大学生の一番大きな仕事ではないかと私は思っています。焦る必要はありません。ゆっくり、しっかりと、少しずつ、たゆまず進みましょう。迷った時、困った時には私や先生方、職員にいつでも相談してくださいね。私たちは全力で皆さんを支えます。

辻中豊(つじなか・ゆたか)

大阪大学大学院法学研究科公法学専攻(修士)。博士(法学)京都大学。コーネル大学客員(フルブライト、ACLS)研究員。筑波大学人文社会系教授、副学長。東海大学政治経済学部教授、副学長。国際大学協会アジア代表理事(2012-16)。日本政治学会理事長(2014-16)。学校法人東洋学園評議員、理事を経て現職。



新学長の人柄に迫る質問をしてみました!

清水いづみさん
(現代経営学科4年)

Q 学長の自慢は何ですか?

A 以前は留学生の多い筑波大学にいて、9~10カ国30人くらいの学生に博士号を与えた——、つまり博士を育てた、ということが自慢のひとつです。また、同志社大学や関西学院大学、大阪大学など、さまざまな大学に弟子がいて、それぞれに活躍している、ということも自慢できることでしょうか。

Q 東洋学園大学の学生だったら、どんなサークルに入りたいですか?

A それはダンスでしょう!と言いたいところですが、無理ですね(笑)。私は学生時代、サークルではないけれど、男友達で集まってよく合唱をしていたので、サークルに入ら歌唱系かな。昔はそれなりに歌がうまくて、フォークソングやニューミュージックなどを歌っていたんですよ(笑)。

Q もしも特殊能力を手に入れられるとしたら?

A 分身の術が使えたらいいな、と前から思っています。そうしたら3人に分かれて、1人は私生活、1人は学長、1人は研究をする。これが私の望みですね(笑)。



なるほど...

Q 東洋学園大学やTOGAKU生の第一印象は?

A まだ学生さんにあまり会えていないので、これから学内を周って会いたいです。でも、ワースタの皆さんを見る限りおしゃれで、さすが都心の大学という感じです。私は大阪出身なので、東京のど真ん中というのは私にとっても魅力的です。

Q 学生時代にがんばっていたことは?

A 大学で法学部に入ったけれど、法律にはあまり馴染めず、脇道に逸れて行きついたのが政治学でした。そんな学生時代に、今というNPOやNGOのような市民運動に参加し、講演の司会や文章作成などを手伝う中で、自分の存在価値を見出せるようになりました。そして、それを機に「市民社会」という概念で世界中を比較検討する研究者になったんです。学生時代の活動を通じて、「自分に合うものを社会の中で見つける」ことができたから、今があるのかもしれない。

Q 在学生に期待することは?

A 今は情報が手に入りやすく、知識を得やすい反面、情報の海の中で迷子になりがちな時代でもあります。迷子にならないためには、自分の立ち位置や方向性をしっかりさせておくことが大切。すべての原点は自分なので、「自分を知る」ことを意識してほしいです。

Q 今後、学長の授業を受けられる機会はありますか?

A 講演のようなものができたらやりたいですね。また、学生さんの「生の声」が聞きたいので、オフィスアワーを設けたいとも思っています。私はこれまで世界15カ国で調査をしてきましたが、いつも各国の学生さんにお手伝いをお願いしています。私にとっては、学生さんと一緒にいることがエネルギー源。直接話をして、いろいろ教えてほしいと思っています。

新学長はとっても気さくで親しみやすい先生でした!



100周年に向けての展望は?



私がお答えしましょう!

もうすぐ創立100周年を迎える東洋学園。

本学の理事長であり、実は東洋学園の創立者・宇田尚先生の曾孫でもある愛知太郎先生に今後の展望を聞いてみました。

学校法人東洋学園理事長
愛知太郎(あいち・たろう)

東京大学大学院工学系研究科金属工学専攻修士課程修了、東北大学大学院環境科学研究科博士課程後期修了。学術博士。同和鉱業株式会社、DOWAメタルマイン株式会社等に勤務、学校法人東洋学園評議員、理事を経て現職。

Q 理事長が思うTOGAKUのアピールポイントとは?

A やはり、「都会の真ん中」にあるという立地の良さ。近隣だけでも数十軒の企業があり、多様な人が働いていて、生きた題材にあふれています。重要なのは、そのシチュエーションをどうやって学びに活かすか、ということ。たとえば、「小規模大学」という個性を強みにして、3学部合同で企業とコラボしてみるのもいいかもしれません。現時点でスポーツインストラクターを目指す人間科学部の学生も、ゆくゆくは自分で起業したいと思うかもしれませんが、学部をまたいで経営を学んでおけば将来の可能性が広がりますね。今後も「都会の真ん中にある小規模大学」のメリットを活かして、学びを進化させていけたらと思います。

Q TOGAKUはこの先、どのように変わっていくのでしょうか?

A 施設面では、1号館屋上の喫煙スペースや5号館6階の空きスペース、グラウンドなどは改善の余地があると思っています。また、今後もオンライン授業を2~3割は継続しようと思っているので、それに伴って学食の形態も変えていく必要があるかもしれません。でも、「こうすべき」という具体的なアイデアは私からは出てこないで、当事者である学生の皆さんにアイデアを出してもらって、できれば自分たちでやってみてほしいと思っています。これも「やってみる」ですね。私の役目は、皆さんの提案を受け入れ、予算面などで支援することだと考えています。良いアイデアがあれば前向きに検討しますので、ぜひ提案してくださいね。

Q TOGAKUのSDGsの現状や、今後の予定は?

A まず、省エネについては以前から取り組んでいて、学内の照明のLED化が実現しています。今後の課題は空調の整備。熱交換器を導入するなど、換気と省エネを両立させる方法を検討しなければと思っています。また、共生社会を目指して学内のバリアフリー化にも取り組んでおり、出入口付近にはスロープを設置。トイレも和式を撤去し、誰もが快適に使えるようにしました。

Q これからの大学生に必要なこと、期待することは?

A 私の意見は、「やってみる」こと。今はネットから多くの知識を得ることができ、皆さんは私が10年かけて得た知識を1ヶ月くらいで習得できるでしょう。でも、そんな時代だからこそ「知っている」だけでは差別化にならない。そこから先の「やってみる」ことが大切です。頭で知っているつもりでも、実際にやってみると予想以上におもしろかったり難しかったりするはず。そうした経験の中で、自分が本当にやりたいこと、やれることを探してほしいと思います。



愛知先生に質問するワースタのメンバーたち

パーソナルな質問もしてみました!

Q 理事長の仕事内容とは?

A 理事長は、例えるならレストランのオーナー。料理のジャンルや方向性を決め、シェフを集めてきて、どうやってこのレストランを盛り立てようかと考えるのがオーナーの仕事です。私は自分で起業したわけではないので、今あるキャンパスや先生、職員の方々とともにどうやって大学を運営していくかを考えるのが役目だと思っています。

Q 大学生におすすめの本は?

A 私が製造業の仕事をしている時に読んで感銘を受けた本は、『失敗学のすすめ(講談社文庫)』。畑村洋太郎さんという東大の機械工学の先生が書いている本です。それから、月並みだけどマイケル・サンデルの『これからの「正義」の話(ハヤカワ・ノンフィクション文庫)』。これは哲学に関する本で、仕事に忙殺されている時期に読んで救われました。

Q 大学生におすすめの趣味は?

A こう言うと身も蓋もないけれど、趣味は何でもいいと思います。いろいろやってみて、自分が気に入るものを見つけられればいいのでは。皆さんはこれから社会に出ていくと思いますが、人生は仕事ばかりじゃない。仕事を終えた後の人生も長いから、人生を豊かにするためにも、いろんな趣味を持つのがいいと思います。

☕ Break time



進化するTOGAKUの

現場を調査!

充実したキャンパスライフが送れるように、TOGAKUはより快適に、おしゃれに、そして機能的に変わり続けています。そんな進化の現場をワースタがレポートします。



Before

English Lounge

NOW!



みんなが使えるラウンジとしてこの春リニューアル!

1号館3階のEnglish Loungeがリニューアルを経て1.4倍の広さに。全体的に明るく優しい色づかいで居心地がよく、照明にもこだわっています。以前は英語に特化した空間でしたが、今後は幅広い目的に使えるスペースになり、秋学期には新しい名前が決定予定! もちろん、これまで通り“English Only”のLounge Timeやイベントの場としても活用されるようです。

インターンの2人に新English Loungeを案内してもらいました!



新English Loungeの5つのエリアをご紹介します!

Presentation Area



プロジェクターが設置されているステージ形式のエリア。イベントやプレゼンテーションに活用できそう!

Group Work Area



グループワークに使える大きなカウンターや、4人用のボックス席があるエリア。各席にはコンセントも完備!

Free Chat Area



自由におしゃべりが楽しめるメインスペース。電子レンジや自動販売機もあり、授業の合間や昼休みにくつろぐのによさそう!

Study Abroad & Information Area



留学や海外インターンシップ、ワーキングホリデーなどの資料が豊富。すぐ横に国際交流センターがあってスタッフに相談しやすい!

Personal Study Area



各席に吸音性の高いパネルが設置してあって、静かに集中して勉強できる。インターン&取材ワースタ2人のイチオシ!

インターンに会いに行こう!

Anytime. Anything.



We love to help!

English Loungeに行けば、今回案内してくれたインターンのAllyson(中央左)とMastlin(中央右)に会えます。「英語での話し相手、自習や宿題のお手伝い、IELTS[™]やTOEIC[®]のアドバイスなど何でも相談にも乗ります! 在学生は気軽にメールしてね」と2人。

ココにも注目!



本棚に並ぶ英語の書籍や新聞は読み放題! コーヒーや紅茶も用意。



世界地図と各地の時間がわかる時計があり、グローバルな雰囲気!



エンカウンターラウンジ

昨年春にリニューアル!



在学生の活用状況や 要望をリサーチしてみた!

2021年3月に大幅リニューアルした4・5号館1階のエンカウンターラウンジ。以前は殺風景で人影もまばらでしたが、現在はおしゃれなカフェのように生まれ変わり、在学生でにぎわっています。利用者にアンケートを取ったところ、多くの人が「友達とおしゃべりの場」として活用しているようでした。一方、今後の要望をリサーチすると、「食品の自動販売機を充実させてほしい」、「自習スペースを増やしてほしい」、「くつろげるソファ席がほしい」などの意見が聞かれました。

一番人気は自習スペース!



ラウンジ奥にある自習スペースは、個別ブースになっていて、「自分の世界に入って集中できる」と大人気。「照明の色が温かい」、「充電を気にせず作業できて安心」といった声も。

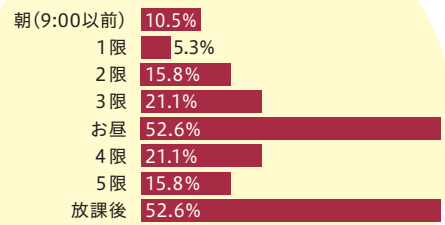


Before

みんなの使用目的 BEST3

- 1位 友達とおしゃべり
- 2位 食事/オンデマンド授業
- 3位 自習&課題

みんなは いつ使用している?



アンケート結果から、お昼と放課後が最も混雑することが判明!そこで、ランチは午前中に購入し、12時前または13時以降に食べるのがおすすめ。また、集中して勉強するのなら空いている午前中がベストです。



自販機にはみんなが好きなアイスもあるよ!



充電には電源プラグが必要です!



ワースタの Tips



資格・キャリアステーション



資格取得をサポートしてくれる頼もしい施設を取材!

エンカウンターラウンジの奥にある資格・キャリアステーション。何ができる場所なのか知らない人も多いのでは?そこで、同施設スタッフの尾作さんに話を聞いてきました。「ここでは、資格全般の相談を受け付けています。どの資格を取ればいいのかわからない人も、目指す資格が決まっている人も、どんな人でも大歓迎。資格

のアドバイスはもちろん、一緒にスケジュールを組んだり、進捗状況のチェックなども行い、皆さんをバックアップします。学内で開講される対策講座もご案内できますので、気軽に相談にきてくださいね!

1~2年生のうちに資格を取っておくと、就活のスタート時点で履歴書に書けるからオススメ!



水・木・金の10時~17時までオープン。予約不要です

資格・キャリアステーションスタッフ 尾作さん

こんな支援が受けられる!

- どんな資格を取るべきかの相談
- 資格取得に向けたスケジュールの相談
- メールなどによる進捗状況のチェック
- 資格対策講座の紹介

すぐに役立つイチオシ資格

Microsoft Office Specialist (MOS)
→PCスキルが上がり、レポート制作にも役立つ!

秘書検定
→ビジネスマナーが身につく、就活にも役立つ!



Campus Xs (キャンパスクロス)

ワースタのオススメ活用術

今春から導入された Campus Xsの活用術を調査!

この春から導入された学修支援ツール、Campus Xs。在学生はさっそく使いこなしているようで、「授業の管理に役立つ」、「昨日のあの授業の資料を見たい、という時にもすぐに探せて便利!」と好評を得ています。そんなCampus Xsのさらなる活用術を探るべく、ワースタがメディアセンター担当者を直撃取材! 意外と知られていない便利機能「質問登録」や「学習実績」についてリサーチしました。

Campus Xsとは?

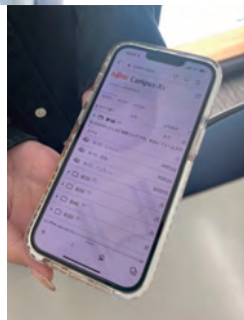
既存の在学生向けポータルサイトTG-Naviに続き、新たに導入されたオンラインツール。履修科目を登録すると、各回の授業がフォルダ別に表示され、先生が格納した教材や動画リンク、テストなどを素早く確認できます。

「質問登録」を活用しよう!

履修科目の先生に直接メッセージを送れる「質問登録」機能が便利。先生のフルネームやメールアドレスがわからなくても手軽に質問でき、画像添付も可能。

「学習実績」は しっかりチェック!

資料の開封率や閲覧時間などをまとめてチェックできる「学習実績」機能付き。授業の前後にしっかり確認して、資料や課題の見落としを防ごう!



オンライン配信室

電子黒板を使って教科書に
直接マークや書き込みを入れる!



オンライン授業の拠点である 配信室にワースタが潜入!

TOGAKUでは質の高いオンライン授業を提供するため、動画教材の制作やライブ配信授業の拠点となるオンライン配信室を完備しています。普段は非公開のこの配信室にワースタが潜入しました!

室内にはカメラ2台にマイク、PC、照明、電子黒板などがズラリ。電子黒板は教科書や教材を映して、電子ペンで書き込みができる優れもの。「伝わる授業」のために欠かせない機材が充実していました!

オンライン授業について、 先生と意見交換してみた!

オンライン授業のメリットって?ワースタが、
オンライン配信室をよく使うという木村昭興
准教授とざっくばらんに意見交換しました。

今回、オンライン配信室に初潜入
してみて、機材の充実ぶりに
びっくり!学生もゼミなどで活
用できたらいいなと思いました



私は、オンデマンド授業は「能動的に学ぶきっかけ」になると感じています。難しいと思った部分を繰り返し視聴したり、途中で止めて言葉や事例を調べたりできるので。先生はいかがですか?



オンライン授業には、「見やすい・聞きやすい」というメリットもあると思います。教室だと、席によって先生の声や資料が確認しにくい場合もありますし。先生はオンライン授業でどんなことを意識していますか?



オンライン授業では、チャットで質問することが多いですね。顔が出ないから、「対面よりも質問や発言のハードルが低い」と感じている学生も結構いて、それもメリットといえるかもしれません。



オンライン授業は、対面と比べて先生との関係性を築くのが難しい、と感じることもあります。でも、今後はCampus Xs (ページ上部参照)が先生とのコミュニケーションに役立つかもしれませんね!



オンデマンド授業では、分からないところを何度も繰り返し見ることによって理解が深まります。聞き逃すことがあっても巻き戻せるので、自分のペース・タイミングで学べることもメリットですね。



できるだけ「ライブ感のある授業」を心掛けています。オンライン配信室には電子黒板やホワイトボードなどの機材が揃っていますし、教科書や資料に書き込みながら説明することもできるので。



なるほど、それはあるかもしれませんね。また、オンラインの場合、互いに画面共有をしながらディスカッションするのが便利。PC上の資料を見せ合って討論する少人数の授業などに最適です。



オンラインだと学生の顔が見えない分、教員も評価に悩むのは事実です。学生の皆さんにはCampus Xsやオフィスアワーなどを活用して、教員との接点を積極的に持ってほしいと思っています。

TOGAKU NEWS



学生たちの活躍や、学校からのお知らせなど
キャンパスライフにまつわるニュースをお届け！

最新ニュースは
こちら

卒業式

思い出を胸に社会へ羽ばたく—— 2021年度卒業式を挙行



2021年度の卒業式・大学院の学位記授与式を3/20に挙行了しました。まん延防止重点措置下での式典となった今年も、昨年同様、学部ごとに時間をずらし、卒業生・教職員全員がマスクを着用。なお、保護者の方々にはインターネットで高画質動画を同時配信しました。

式典後に行われたクラス別行事では、ゼミの担当教員が一人ひとり卒業証書を手渡し、新たな旅立ちを激励。学内のあちこちで記念撮影をしながら、仲間との別れを惜しむ学生の姿が見られました。



留学

活気づく留学シーン 長期留学や学部留学が再開へ

留学フェアの
様子はコチラ！



コロナ禍で中止や延期になっていた留学が再開の動きを見せます。昨年秋には、本学国際交流センター主催の「留学フェア・座談会」が対面・オンラインで開催され、春の短期留学プログラムに関する説明が行われました。

また、今年の春学期より、長期留学(半年～1年)と国際キャリアプログラム(ICP)の学部留学が再開。英語コミュニケーション学科の2名がアメリカとアイルランドへ長期留学、ICPでは6・7期生8名がアメリカへ学部留学中です。今年2月には長期留学認定式とICPの留学結団式がオンラインで行われました。

なお、留学に関する新たな助成制度もスタートしています。詳しくは国際交流センター(1号館3階)にお問い合わせください。



入学式

「自分」を探す大学生活の始まり 2022年度入学式を挙行



2022年度の入学式を4/2に挙行。感染対策を徹底したうえで、3学部と大学院の新入生・編入学生が学部別に集いました。式典の冒頭では、今年4月から就任した辻中豊学長が式辞を述べ、「大学時代に『自分』を見つけてほしい」と激励。また、大学での新たな一歩を踏み出す決意を込めて、各学部と大学院の新入生代表が力強い宣誓を行いました。



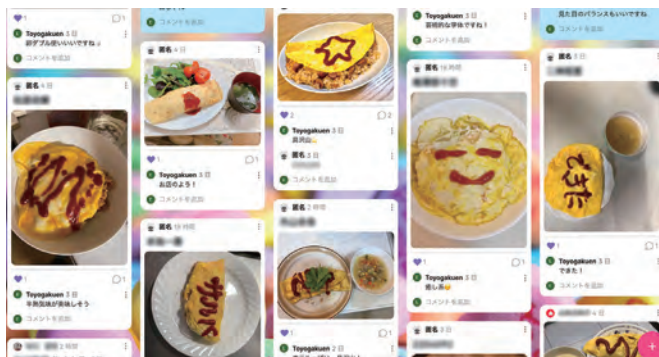
SDGsイベント

料理を楽しみながら フードロスについて考える



フードロス問題をテーマにした在学生向けのオンラインクッキングイベント「東学SDGsクッキング」が開催されました。このイベントは、本学の学生支援委員会と、家庭のフードロス削減に取り組む一般社団法人フードサルベージによる共催企画です。

Zoomで行われたイベントには80名の学生が参加。序盤はフードロスについての講演が行われ、「1年間で600万トンも食料が捨てられている」「自炊する人ほど食品ロスが多くなる場合がある」といったお話も。後半は参加者全員が自宅キッチンでオムライスとスープを同時調理する「サルベージパーティー(サルパ)」が行われ、冷蔵庫の残り物を活用するヒントを学びながら料理を楽しみました。



対面での授業実践は1年ぶり！ 日本語教育実習を実施



今年2月、グローバル・コミュニケーション学部の「日本語教員養成課程」履修学生を対象に、日本語教育実習が行われました。コロナ禍の昨年はオンラインで実施したため、対面での実施は約1年ぶり。実習生たちは感染防止に努めながら、中国やベトナムなどから来日している日本語学習者と交流しました。

実習は東京・高田馬場にあるヒューマンアカデミー日本語学校(東京校)で行われ、本学からは3年生6名が参加。5日間の実習期間の中で、他大学の実習生と一緒に授業計画を立て、最終日には40分間の授業実践を行いました。また、2週間後の成果発表会では、実習の成果や今後の課題についてのプレゼンテーションを披露しました。



公認心理師課程の1期生が 心理実習を終えて卒業



心理職初の国家資格として誕生した「公認心理師」。人間科学部では、2018年度より「公認心理師課程」がスタートしており、この春、第1期生が卒業しました。

1期生9名は4年次に「心理実習」も経験。主要5分野(保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働)の現場で、事前事後の学習も含めて合計80時間以上の学外実習を積みました。卒業前には成果報告会を行い、実習を通じてどんな学びが得られたかを先輩の前で発表。公認心理師を目指す学生にとっては、先輩たちのリアルな体験談を聞く貴重な機会となったようです。



多彩な産学連携プロジェクトで ビジネスの現場を体感！

現代経営学部の各ゼミでは、昨年度、多彩な企業とのコラボプロジェクトを実施。ゼミ生たちは、自らが考えたマーケティング戦略やアイデアを企業の方々に提案する中で、生きたビジネスを学びました。そんな産学連携プロジェクトの様子をお伝えします。



マーケティングとメディア研究ゼミ (八塩圭子教授)

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)とコラボし、3年生4チームが「Z世代にもっとTOKYO MXを見てもらうためのアイデア」を提案。TV局を見学し番組制作の舞台裏にも触れ、昨年12月に社員の方々にに向けた戦略のプレゼンテーションを行いました。



マーケティング戦略／プロジェクトマネジメントゼミ (本庄加代子准教授)



ベルギーの家具メーカーである株式会社SIXINCHジャパンと連携。ゼミ生たちは同社のブランド戦略について研究したうえで、Instagramを活用したSNSマーケティングを提案し、実際にSNSでキャンペーンを実施しました。



新商品開発ゼミ (安藤拓生准教授)



トレーラーハウスのデザイン・開発を手がける株式会社カンパランド・ジャパンと連携。ゼミ生たちは「これからの社会における『動産』の価値を提案する」をテーマに、トレーラーハウスの新たなビジネスアイデアを提案しました。



先輩たちの
卒論テーマの
見つけ方を特集！

卒業論文発表会

各学部の卒業論文発表会を開催 WEBで特集記事を公開中！



毎年恒例の卒業論文発表会が昨年度も行われました。発表会は学部ごとに行われ、各学部の代表者が素晴らしいプレゼンテーションを披露しました。

4年間の学びの集大成である卒業論文。その制作にあたって、要となるのが「テーマ選び」です。本学のホームページでは、先輩たちが「どのように卒論テーマを見つけたのか？」を探った特集記事を公開中。ぜひ参考にしてみてください。



学部長賞

資格試験に合格した 14名に学部長優秀賞を授与

本学では、資格試験や大会等で優秀な成績を収めた学生に学部長賞を授与しています。昨年11月～今年3月の表彰は右記の通りです。



【学部長優秀賞】 ※学年は授与時(順不同)

■令和3年度宅地建物取引士資格試験合格
人間科学部2年 山本泰史

■メンタルヘルス・マネジメント検定II種
(ラインケアコース)合格
人間科学部4年 坂口沙弥
人間科学部2年 古川結菜

■第14回一般社団法人日本心理学諸学会連合認定
心理学検定合格

人間科学部3年 安藤彰吾(1級合格)
人間科学部2年 仲亀詩織(1級合格)
人間科学部4年 長嶋拓郎(2級合格)
人間科学部4年 柳澤芽衣(2級合格)
人間科学部3年 田中瑠斗(2級合格)
人間科学部3年 藤井悠(2級合格)
人間科学部2年 丸道義(2級合格)
人間科学部2年 岩本勇人(2級合格)
人間科学部2年 河村優作(2級合格)

■中国語能力試験(HSK)4級・5級合格
グローバル・コミュニケーション学部4年 植木周平

学生の活動

学生発のSDGsプロジェクト “ゴミプロ”が進行中!

現代経営学部の有志学生6名が立ち上げた「日本一ゴミの出ない大学プロジェクト ～トーガクノミライユカエヨウ～(通称“ゴミプロ”)」。その名の通り、「TOGAKUを日本一ゴミの出ない大学にする」ことを目標に活動を進めています。本学のホームページでは、“ゴミプロ”についての特集記事を公開中。ぜひご覧ください。



“ゴミプロ”の
活動内容や
メンバーの想いを
チェック!



大学間協定

課外活動等における相互交流協定を 文京学院大学と締結

本学と文京学院大学は、同じ文京区内の大学として、かねてより大学間交流を行ってきました。これまでも単位互換協定を結ぶなどしてきましたが、2022年度は新たに「文京学院大学と東洋学園大学との課外活動等における相互交流に関する協定」を締結。クラブ・サークル活動や学生主体のイベントなどを通じた学生間交流を活性化させるとともに、両大学の学生支援のさらなる充実を目指します。



学生団体

新入生も在生もウェルカム! クラブ・サークル活動にぜひ参加を



「学生団体
あれこれガイド」は
コチラ!



本学にはさまざまな学生団体があり、随時メンバーを募集しています。4月には、学生団体を取りまとめる学生会運営部が新入生向けのクラブ・サークル説明会を実施。学園祭運営局や卒業記念委員会、Extreme☆

Steppers(ダンス)、Heavenly(音楽)、ESS(英語研究)、劇団ハレツケ(演劇)など計13団体が参加し、新入生に向けて活動内容のプレゼンテーションやパフォーマンスを行いました。

在学生向けホームページ「学生団体あれこれガイド」には、学生団体の一覧も掲載中。ぜひチェックして、興味がある団体のSNSにアクセスしてみてください。

公開講座

2022年度のテーマはSDGs 公開講座を対面・オンラインで同時開催

都心で、学問領域にとらわれない幅広い教養(リベラルアーツ)を学ぶ東洋学園大学の公開講座。2022年度は4/30よりスタートし、8/6までの全7回を予定しています(無料)。今年度のテーマは、持続可能な開発目標“SDGs”です。より多くの方々に生涯学習の機会を提供すべく、アクセスのよい東京・本郷キャンパスでの対面講座とオンラインでのライブ配信とのハイブリッド形式で開講します。詳しい日程やお申し込み方法はQRコードからご確認ください。



2022年度初回の模様



TOGAKU SPORTS

最新情報は
こちら!



コロナ禍に負けず、男女テニス部は4月から公式戦（春関）に出場！
硬式野球部は、悲願の2部優勝・1部昇格を目指して春季リーグで奮闘しました。
また、ダンススポーツ選手の大西咲菜さんは、競技+αの活躍も見せています。

男女テニス部

“春関”には部員全員が出場！ オープン大会準優勝者も

4月時点で男子14名、女子1名が所属するテニス部。週5日、練習に励み、各選手が着々とスキルアップしています。主将によれば、注目選手は小野海斗選手（3年）と佐々木正望選手（2年）とのことです。

ここ2年間はコロナ禍の影響で中止となる大会が多かったものの、今年は4月から「関東学生テニストーナメント大会（春関）」が開幕。さらに、小野選手がオープン大会で準優勝するなど活躍を見せています。

秋には2年ぶりに「関東大学テニスリーグ（団体戦）」も開催予定。本学は男女ともに3部リーグに所属しており、2部昇格を目指して戦います！



男女テニス部主将
都司龍美さん（人間科学部4年）

東洋学園大学テニス部の強みは、上級生が中心となって部員自身が主体的に練習メニューを組み、メリハリある雰囲気を作ろうとしていること。部員は皆テニスが好きで向上心があり、自主練にも積極的です。人数が多いとは言えませんが、その分、練習でたくさん球数を打てたり、下級生に目が届きやすいというメリットもあります。

新1年生はもちろん、在学生の中途入部や体験・見学も大歓迎です！マネージャーも男女ともに募集しています。初心者でも、レベルに合わせたメニューや活動しやすい環境を作っていきたいと思っていますので、興味のある人はぜひ一度、体験・見学に来てください！

硬式野球部

1年生26名も加わった新チームで2部優勝・1部昇格を目指す！

硬式野球部の部員数は、4月時点で71名。東京新大学野球連盟の2部リーグに所属しており、4月に開幕した春季リーグ戦では、5/8（日）の時点で開幕7連勝！単独首位となっています。

今年のチームスローガンは、「戮力協心（りくりよくきょうしん）」。心をついに力を合わせ、2部優勝・1部昇格を目指しています。主将によれば、今年は能力の高い投手が多いとのこと。また、冬場に打撃強化やバント練習にも力を入れたとのこと、攻守ともに期待が持てそうです！



145kmを投げる注目投手、池田選手



硬式野球部主将
中松武哉さん（現代経営学部4年）

去年の秋季リーグ戦では、惜しいところでリーグ優勝を逃したので、今季こそ2部優勝・1部昇格を達成したいです。応援よろしくお祈いします！

野球部は、規律を大切にしながらも明るく活気あふれるチームです。普段は東洋学園大学グラウンドで練習していますが、火曜日は4号館地下のトレーニングルームにいますので、仲間になりたい人は気軽に声をかけてくださいね。プレイヤーはもちろん、学生コーチやマネージャーも募集中です！

ダンススポーツ（個人）

競技シーンはもちろん メディアでも大活躍！



昨年は世界選手権に日本代表として出場、三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権のスタンダード部門で優勝を果たすなど、日本トップクラスのダンススポーツ選手として国内外で活躍している大西咲菜さん。4月、海外遠征から帰国したばかりの大西さんに話を聞きました。



大西咲菜さん
（グローバル・コミュニケーション学部3年）

「7月にアメリカで開催予定のTHE WORLD GAMESに日本代表としてノミネートされました。今年の目標は三笠宮杯で2部門制覇すること、世界選手権でベスト24以内に入ることです」

直近では、4月にダンススポーツグランプリ（熊本・京都）、6月には全日本10ダンス選手権大会に出場予定とのこと。さらに、auの動画広告「#ハタチが未来をつなぐぞ」にも出演するなど、活躍の幅を広げています。

#自彊不息でいこう

Vol.3

国際支援を目指す
私の自彊不息は
コース!



「自彊不息」とは、「日々の努力を怠らず学びに励むことで成長し、社会を変えていく人間になってほしい」という願いを込めて継承されてきた東洋学園大学の建学の精神。

このコーナーでは、個性豊かな学生たちが「自彊不息」を受け継ぎ、毎日の小さな努力を積み重ねて一歩ずつ成長している様子を紹介します。



後藤 瑠花さん
(グローバル・コミュニケーション学部4年)

中学2年生の時に「国会議員と15人の15歳が15年後の世界と日本を語り合う」に参加し、「将来は貧困地域の子どもの支援に関わりたい」と決意。大学では夢の実現に向けた学びに注力しつつ、小学5年生から続けているコースも継続。「歌なら世界中の子どもとコミュニケーションが取れる」との想いも練習の原動力となっているようです。卒業後は日本語教師として国際経験を積み、JICAの海外協力隊を目指しているそうです。



貧しい地域の子どもたちを支援したい!

私の夢は国際支援!

中学生の頃から、発展途上国の教育やストリートチルドレン問題に関心がありました。

1



勉強の合間にカフェでアルバイトも。人と接することが好きで、高3から続けています。

おねえさん、おいしかったよ!!

ありがとう!!

3



夢の実現に向けて、大学ではいろいろなことにチャレンジしています。

スペイン短期留学

ALPS (英語特別選抜クラス)や日本語教員養成課程も履修!

カンボジアでインターンシップ

2



NPO法人アフリカ日本協議会のインターンシップ

アフリカのニュースを毎日収集!

日本語学校のインターンシップ

卒業までの1年間も、楽しみながら国際経験を積んでいきたいです!

5



いつか音楽がストリートチルドレンとの交流にも役立つかも!

そんな私の自彊不息は11年間続けているコース!

地元の合唱団で週1回練習しています。

4